

# 伊那谷・経済動向

## 中小企業景気レポート



アルプス中央信用金庫

<http://www.alupuschuo-shinkin.jp/>

ALSHIN  
BANK

主要指標		今 期	前年同期	前年同期比
有効求人倍率 (伊那公共職業案内所管内)		26/11 1.10 倍	25/11 0.95 倍	前年同月比 0.15 倍
電力使用量 (伊那営業所管内)	電 灯	9~11月 77,048千kwh	9~11月 79,434千kwh	-3.00 %
	電 力	9~11月 251,748千kwh	9~11月 253,689千kwh	-0.77 %
自動車新規登録台数 (松本自動車検査 登録事務所管内)	新 車	6,528 台	7,562 台	-13.67 %
	中古車	1,678 台	1,871 台	-10.32 %
	合 計	8,206 台	9,433 台	-13.01 %
住宅新設着工数 (戸建、共同住宅を含む) (上伊那地方事務所管内)		9~11月 191 件	9~11月 259 件	-26.25 %
駒ヶ岳ロープウェイ乗車客数		41,557 人	56,017 人	-25.81 %
中央道利用台数 (伊北インター分)	入	284,236 台	302,739 台	-6.11 %
	出	272,535 台	288,338 台	-5.48 %
中央道利用台数 (伊那インター分)	入	396,379 台	424,585 台	-6.64 %
	出	404,701 台	441,773 台	-8.39 %
中央道利用台数 (駒ヶ根インター分)	入	307,063 台	337,559 台	-9.03 %
	出	306,317 台	332,443 台	-7.86 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	247,669 台	267,799 台	-7.52 %
	出	243,560 台	261,472 台	-6.85 %

前期 7 - 9 月      今期 10 - 12 月      来期 1 - 3      4 - 6 月の四半期毎集計

※このレポートは、当金庫のお取引先211社に対し、平成26年10月~12月期の景気の現状と平成27年1月~3月期の見通しを調査したものです。

## 地区内の景況観

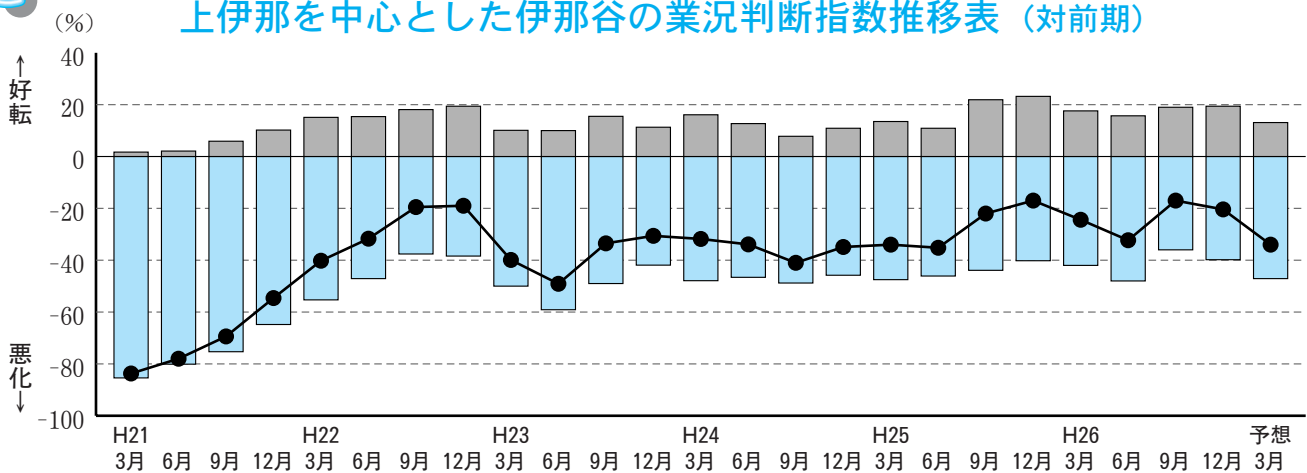
◇**今期の業況**：今期の上伊那地区内の業況を総合的に見ると、良かったとする企業は**19.4%**（前期**19.0%**）、悪かったとする企業は**39.8%**（前期**36.0%**）で、DIは**▲20.4**（前期**▲17.0**）と前期より**3.4**ポイント悪化しており、穏やかな回復基調が続いているものの持ち直しの動きに弱さも見られる。

業種別のDIを見ると、**製造業▲27.5**（前期▲8.9）、**建設業▲2.4**（前期▲4.7）、**卸売業10.0**（前期▲60.0）、**小売業▲20.5**（前期▲32.4）、**サービス業▲48.2**（前期▲22.2）、**不動産業20.0**（前期0.0）となっており、卸売業と不動産業以外の業種がマイナスの領域となっている。前期と比較して、**卸売業は70.0**ポイント大幅に改善しプラスに転じ、**不動産業も20.0**ポイント改善した。また、**建設業は2.3**ポイント、**小売業は11.9**ポイント水面下ながら改善した。しかし、**製造業は18.6**ポイント、**サービス業は26.0**ポイント悪化幅が拡大した。

◇**来期の見通し**：来期の業況を総合的に見ると、DIは**▲34.0**（今期**▲20.4**）と**13.6**ポイント悪化幅が拡大する見通しで景況感の悪化が予想される。

業種別で見ると、DIは**製造業▲33.3**（今期▲27.5）、**建設業▲29.3**（今期▲2.4）、**卸売業▲30.0**（今期10.0）、**小売業▲28.2**（今期▲20.5）、**サービス業▲59.3**（今期▲48.2）、**不動産業0.0**（今期20.0）と、不動産業以外の業種については、マイナスの見通しとなっている。今期と比べると全ての業種でマイナス幅が拡大し、**製造業は5.8**ポイント、**建設業は26.9**ポイント、**卸売業は40.0**ポイント、**小売業は7.7**ポイント、**サービス業は11.1**ポイント、**不動産業は20.0**ポイント業況感が落ち込むと予想している。

上伊那を中心とした伊那谷の業況判断指数推移表（対前期）



※棒グラフは業況判断指数、折れ線グラフはDIを表しています。

※DIとは、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかで業況を判断しています。

なお、「仕入価格」については下降割合から上昇割合を、「販売価格」については上昇割合から下降割合をそれぞれ差し引いた数値で判断しています。

## 業種別天気図

業種	時期	平成26年 4～6月期	平成26年 7～9月期	平成26年 10～12月期	平成27年 1～3月期予想
総合		☔	☁	☁	☔
製造業		☁	☁	☁	☔
建設業		☁	☁	☁	☁
卸売業		☔	☔	☁☔	☔
小売業		☔	☔	☁	☁
サービス業		☔	☁	☔	☔
不動産業		☁	☁	☁☔	☁



## 製 造 業 (調査先企業 78 社 うち回答企業 70 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**20.3%**（前期**23.9%**）、悪かったとする企業は**47.8%**（前期**32.8%**）でDIは▲**27.5**（前期▲**8.9**）と**18.6**ポイント低下し悪化が強まった。

各指標別で見ると、売上額はDI▲**7.1**（前期▲**4.4**）と**2.7**ポイント減少幅が拡大した。受注残もDI▲**12.8**（前期▲**7.4**）と**5.4**ポイント減少幅が拡大した。収益のDIは▲**14.3**（前期▲**20.6**）と**6.3**ポイント改善した。原材料価格のDIは▲**40.0**（前期▲**41.1**）と原材料価格の上昇傾向が続いており4割の企業が上昇している。販売価格のDIは▲**5.7**（前期▲**7.4**）と販売価格の厳しさは少し和らいだ。資金繰りのDIは▲**15.7**（前期▲**11.8**）で**3.9**ポイント厳しさを増した。

前年同期比で見ると、売上額はDI**2.8**（前年同期▲**22.6**）と**25.4**ポイント増加し水面下を脱した。収益面についてはDI▲**11.4**（前年同期▲**40.0**）と**28.6**ポイント改善した。売上は増加傾向に転じているものの収益はまだ水面下を脱しておらず、厳しい状況の企業もある。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、良いと予想する企業は**14.5%**（今期**20.3%**）、悪いと予想する企業は**47.8%**（今期**47.8%**）で、DIは▲**33.3**（今期▲**27.5**）と**5.8**ポイント悪化傾向が強まると予想している。

各指標別で見ると、売上額はDI▲**24.3**（今期▲**7.1**）と減少を強めると予想している。受注残についてもDI▲**30.0**（今期▲**12.8**）と**17.2**ポイント低下し減少を強めると予想している。資金繰りのDIは▲**24.3**（今期▲**15.7**）と**8.6**ポイント減少し厳しさが増すと予想している。借入れを予定している企業は**21.7%**で今期実施**47.1%**から大きく減少する見通しである。設備投資の実施を予定している企業は**37.7%**（今期実施**44.3%**）、予定していない企業は**62.3%**（今期実施なし**55.7%**）となっている。

### ◆DI指数推移

		平成25年	平成26年				予 想
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況		▲32.0	▲25.7	▲11.1	▲8.9	▲27.5	▲33.3
売 上 額		▲1.4	▲12.1	6.9	▲4.4	▲7.1	▲24.3
受 注 残		▲12.2	▲4.6	4.2	▲7.4	▲12.8	▲30.0
収 益		▲20.0	▲16.7	▲7.0	▲20.6	▲14.3	▲27.2
販 売 価 格		▲12.0	▲10.6	▲2.8	▲7.4	▲5.7	▲1.4
原 材 料 価 格		▲33.4	▲36.4	▲56.3	▲41.1	▲40.0	▲30.0
原 材 料 在 庫		5.3	6.1	1.4	7.3	▲2.9	▲1.4
資 金 繰 り		▲16.0	▲27.3	▲16.9	▲11.8	▲15.7	▲24.3

### ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）（%）

		平成25年	平成26年				予 想
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
借 入 実 施	し た	33.3	30.8	30.6	36.8	47.1	21.7
	し ない	66.7	69.2	69.4	63.2	52.9	78.3
借 入 難 易 度	容 易	10.8	6.2	7.0	12.3	8.7	—
	不 変	66.2	67.7	67.6	63.1	60.9	—
	難	6.8	12.3	14.1	10.8	13.0	—
	該 当 なし	16.2	13.8	11.3	13.8	17.4	—

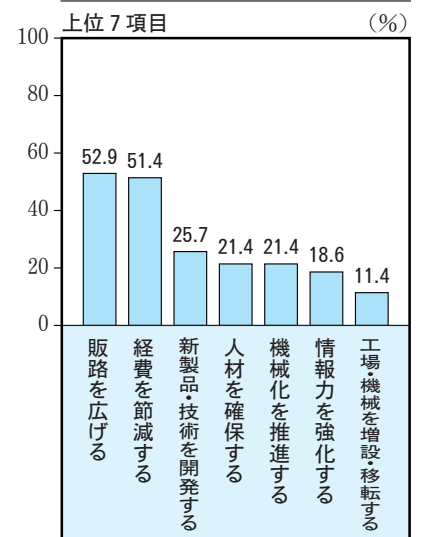
### ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）（%）

		平成25年	平成26年				予 想
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
実 施	し た	41.4	35.1	43.2	43.6	44.3	37.7
	し ない	58.6	64.9	56.8	56.4	55.7	62.3
状 況	過 剰	17.6	10.6	5.6	7.5	5.7	6.0
	適 正	68.9	71.2	70.5	74.6	77.2	79.1
	不 足	13.5	18.2	23.9	17.9	17.1	14.9
D I		4.1	▲7.6	▲18.3	▲10.4	▲11.4	▲8.9

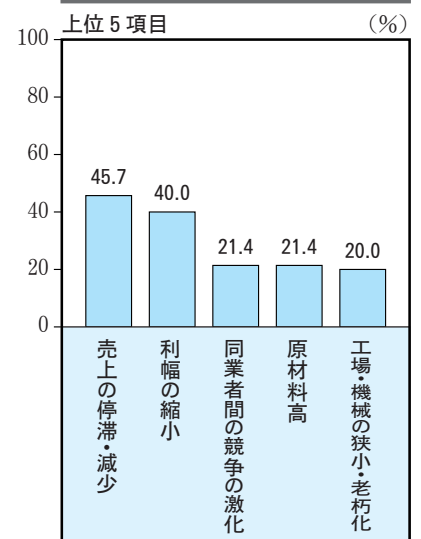
### ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）（%）

		平成25年	平成26年				予 想
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
残 業 時 間	増 加	16.0	25.8	20.8	16.2	17.1	15.7
	不 変	53.3	53.0	54.2	63.2	62.9	61.4
	減 少	30.7	21.2	25.0	20.6	20.0	22.9
人 手	過 剰	20.0	15.2	12.5	16.4	14.3	14.3
	適 正	68.0	63.6	59.7	65.7	64.3	65.7
	不 足	12.0	21.2	27.8	17.9	21.4	20.0

### 重点経営施策（複数回答）



### 経営上の問題点（複数回答）



# 建設業

(調査先企業46社 うち回答企業41社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は17.1%（前期16.7%）、悪かったとする企業は、19.5%（前期21.4%）で、DIは▲2.4（前期▲4.7）と2.3ポイント悪化幅が縮小し2期連続改善となった。

各指標別で見ると、売上額はDI14.6（前期▲4.7）と19.3ポイント改善しプラスに転じた。受注残についてもDI9.7（前期▲19.5）と29.2ポイント改善しプラスに転じ、施工高もDI14.7（前期▲2.5）と17.2ポイント改善しプラスに転じた。収益面はDI▲17.1（前期▲21.4）で4.3ポイント改善した。価格面では請負価格がDI0.0（前期▲4.9）と価格の厳しさが和らいだ。材料価格はDI▲39.1（前期▲50.0）と材料価格の上昇は弱まっているが、まだ4割強の企業は上昇している。資金繰りについては、DI▲17.1（前期▲31.0）と13.9ポイント厳しさが和らいだ。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲10.0（前年同期26.2）と36.2ポイント減少し水面下に落ち込んだ。収益面についてもDI▲20.0（前年同期2.4）と22.4ポイント減少し水面下に落ち込んだ。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI▲29.3（今期▲2.4）と26.9ポイント厳しさが強まると業況予想している。各指標別で見ると、売上額はDI▲24.4（今期14.6）と39.0ポイント減少、受注残についてもDI▲34.2（今期9.7）と43.9ポイント減少し、売上額・受注残ともに増加から減少に転じる見通しである。収益面はDI▲21.9（今期▲17.1）と4.8ポイント減少し低迷する見通しである。資金繰りはDI▲24.4（今期▲17.1）と7.3ポイント下がり厳しさが増すと予想している。

※「売上高＝完成工事高」、「施工高＝出来高」、「請負価格＝受注額」

## ◆DI指数推移

	平成25年 10～12月	平成26年				予 想 1～3月
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	
業 況	23.8	4.4	▲15.6	▲4.7	▲2.4	▲29.3
売 上 額	31.0	▲13.1	▲24.4	▲4.7	14.6	▲24.4
受 注 残	38.1	▲10.9	▲35.5	▲19.5	9.7	▲34.2
収 益	4.8	▲13.0	▲44.5	▲21.4	▲17.1	▲21.9
請 負 価 格	2.4	▲10.9	▲13.3	▲4.9	0.0	▲17.1
材 料 価 格	▲66.7	▲63.0	▲68.9	▲50.0	▲39.1	▲34.1
在 庫	▲4.8	8.9	6.8	4.7	▲2.5	▲2.5
資 金 繰 り	▲31.7	▲41.3	▲17.8	▲31.0	▲17.1	▲24.4

## ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年 10～12月	平成26年				予 想 1～3月	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
借 入 実 施	した	54.8	60.0	48.9	59.5	57.5	42.1
	しない	45.2	40.0	51.1	40.5	42.5	57.9
借 入 難 易 度	容 易	4.8	8.7	9.5	4.9	2.5	—
	不 変	73.7	63.0	69.1	75.5	72.5	—
	難	16.7	17.4	11.9	9.8	17.5	—
	該当なし	4.8	10.9	9.5	9.8	7.5	—

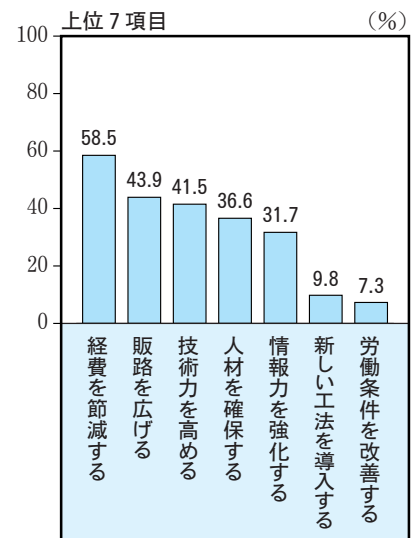
## ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年 10～12月	平成26年				予 想 1～3月	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
実 施	した	36.5	38.5	48.2	32.7	42.9	40.4
	しない	63.5	61.5	51.8	67.3	57.1	59.6
状 況	過 剰	4.9	2.2	6.7	0.0	0.0	2.6
	適 正	75.6	80.0	82.2	92.9	85.0	79.5
	不 足	19.5	17.8	11.1	7.1	15.0	17.9
DI	▲14.6	▲15.6	▲4.4	▲7.1	▲15.0	▲15.3	

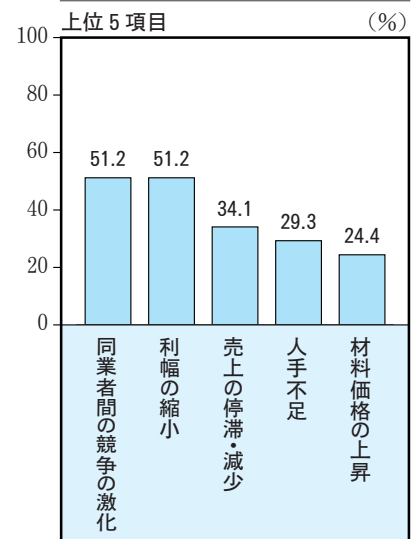
## ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年 10～12月	平成26年				予 想 1～3月	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
残 業 時 間	増 加	28.6	30.4	4.4	7.1	17.1	14.6
	不 変	59.5	58.7	73.4	81.0	78.0	78.1
	減 少	11.9	10.9	22.2	11.9	4.9	7.3
人 手	過 剰	2.4	4.3	13.3	7.1	2.4	4.9
	適 正	50.0	54.4	62.3	59.6	65.9	61.0
	不 足	47.6	41.3	24.4	33.3	31.7	34.1

## 重点経営施策（複数回答）



## 経営上の問題点（複数回答）



## 卸 売 業 (調査先企業 11 社 うち回答企業 10 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**40.0%**（前期**10.0%**）で、悪かったとする企業は**30.0%**（前期**70.0%**）でDI**10.0**（前期**▲60.0**）と**70.0**ポイント大幅に改善した。

各指標別に見ると、**売上額**はDI**50.0**（前期**▲10.0**）と**60.0**ポイント、**収益面**もDI**30.0**（前期**▲10.0**）と**40.0**ポイント改善し増勢に転じた。**販売価格**はDI**20.0**（前期**20.0**）で落ち着いているが、**仕入価格**のDIは**▲70.0**（前期**▲20.0**）と仕入価格の上昇が強まった。**資金繰り**についてはDI**▲10.0**（前期**▲20.0**）で**10.0**ポイント改善した。**借入れ**をした企業は**50.0%**（前期**40.0%**）、**設備投資の実施**をした企業は**10.0%**（前期**9.1%**）となっている。

前年同期比で見ると、**売上額**はDI**▲20.0**（前年同期**0.0**）と**20.0**ポイント減少した。**収益面**についてはDI**▲10.0**（前年同期**▲11.1**）とほぼ同様に推移した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI**▲30.0**（今期**10.0**）とマイナスに転じると予想している。

各指標別で見ると、**売上額**のDIは**▲50.0**（今期**50.0**）と**100**ポイント減少、また**収益**についてもDI**▲40.0**（今期**30.0**）と**70**ポイント減少し、売上高・収益ともに今期増勢に転じているものの、再び水面下に落ち込むと予想している。**販売価格**は価格の上昇が強まると予想しているが、**仕入価格**については価格の上昇が弱まると予想している。**借入れ**を予定している企業は**11.1%**（今期実施**50.0%**）と今期より大幅に減少する見通しである。**設備投資の実施**を予定している企業は**10.0%**（今期実施**10.0%**）で、来期設備投資の実施を予定している企業は今期と同様の見通しである。

## ◆DI指数推移

	平成25年	平成26年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	11.1	10.0	▲30.0	▲60.0	10.0	▲30.0
売 上 額	33.4	30.0	10.0	▲10.0	50.0	▲50.0
収 益	11.1	30.0	0.0	▲10.0	30.0	▲40.0
販 売 価 格	11.1	20.0	50.0	20.0	20.0	40.0
仕 入 価 格	▲66.7	▲60.0	▲40.0	▲20.0	▲70.0	▲50.0
在 庫	33.3	10.0	20.0	30.0	10.0	0.0
資 金 繰 り	▲22.2	10.0	▲20.0	▲20.0	▲10.0	▲20.0

## ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年	平成26年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	37.5	33.3	40.0	40.0	50.0	11.1
	しない	62.5	66.7	60.0	60.0	50.0	88.9
借 入 難 易 度	容 易	0.0	11.1	0.0	1.0	10.0	—
	不 変	77.8	66.7	88.9	69.0	60.0	—
	難	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	—
	該当なし	22.2	22.2	11.1	20.0	20.0	—

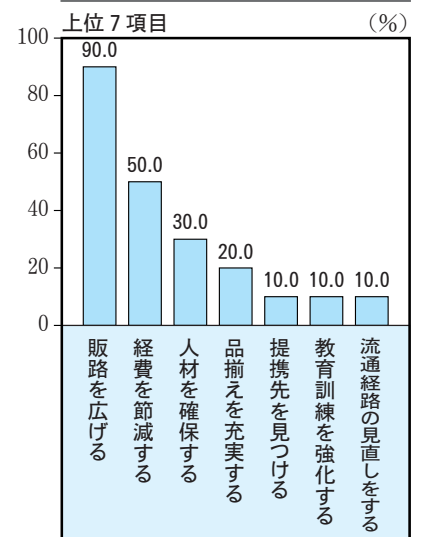
## ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年	平成26年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	11.1	36.4	10.0	9.1	10.0	10.0
	しない	88.9	63.6	90.0	90.9	90.0	90.0
状 況	過 剰	12.5	10.0	10.0	11.1	10.0	11.1
	適 正	75.0	80.0	80.0	77.8	60.0	66.7
	不 足	12.5	10.0	10.0	11.1	30.0	22.2
DI	0.0	0.0	0.0	0.0	▲20.0	▲11.1	

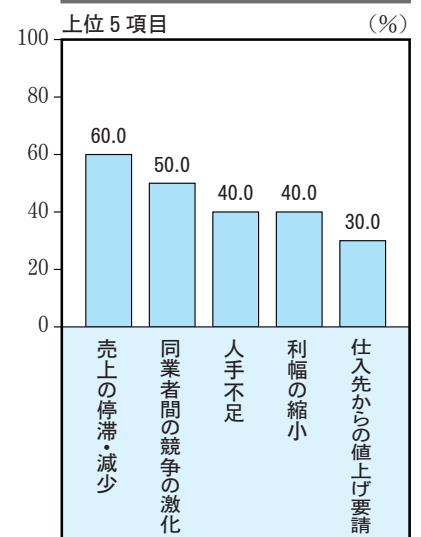
## ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年	平成26年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	11.1	20.0	0.0	22.2	0.0	10.0
	不 変	88.9	70.0	77.8	77.8	90.0	70.0
	減 少	0.0	10.0	22.2	0.0	10.0	20.0
人 手	過 剰	11.1	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0
	適 正	77.8	70.0	90.0	90.0	90.0	70.0
	不 足	11.1	20.0	0.0	10.0	10.0	20.0

## 重点経営施策（複数回答）



## 経営上の問題点（複数回答）



## 小 売 業 (調査先企業 40 社 うち回答企業 39 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**20.5%**（前期**16.2%**）、悪かったとする企業は**41.0%**（前期**48.6%**）で、DI▲**20.5**（前期▲**32.4**）と**11.9**ポイント悪化幅が縮小し2期連続改善となった。

各指標別に見ると、売上額はDI**28.2**（前期▲**10.8**）と**39.0**ポイント、収益面でもDI**10.3**（前期▲**32.4**）と**42.7**ポイント改善し水面下を脱した。販売価格はDI**7.7**（前期**21.6**）で販売価格の上昇が弱まり傾向、仕入価格はDI▲**28.2**（前期▲**41.6**）で仕入価格の上昇が弱まり傾向である。資金繰りのDIは▲**23.1**（前期▲**24.3**）と**1.2**ポイント改善した。今期借入れをした企業は**23.1%**（前期**24.3%**）、今期設備投資の実施をした企業は**15.4%**（前期**16.2%**）となっている。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲**5.2**（前年同期▲**6.1**）とほぼ同様に推移した。収益面についてはDI▲**30.8**（前年同期▲**21.2**）と前年同期より**9.6**ポイント低下し減少を強めた。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI▲**28.2**（今期▲**20.5**）と**7.7**ポイント減少し、悪化幅が拡大すると予想している。

各指標別で見ると、売上額のDIは▲**25.7**（今期**28.2**）と**53.9**ポイント減少、収益についてもDI▲**30.8**（今期**10.3**）で**41.1**ポイント減少し、売上高・収益ともに今期水面下を脱したが再び水面下に落ち込むと予想している。借入れを予定している企業は**17.9%**（今期実施**23.1%**）と今期より減少する見通しである。設備投資の実施を予定している企業は**12.8%**（今期実施**15.4%**）と今期より減少する見通しである。

### ◆DI指数推移

	平成25年	平成26年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	▲24.3	▲36.8	▲69.2	▲32.4	▲20.5	▲28.2
売 上 額	15.2	▲26.3	▲59.0	▲10.8	28.2	▲25.7
収 益	9.1	▲21.0	▲61.5	▲32.4	10.3	▲30.8
販 売 価 格	15.2	▲7.9	23.1	21.6	7.7	▲18.4
材 料 価 格	▲36.4	▲23.6	▲38.5	▲41.6	▲28.2	▲18.4
在 庫	24.2	21.1	28.2	21.6	23.0	15.4
資 金 繰 り	▲18.7	▲23.7	▲25.6	▲24.3	▲23.1	▲23.1

### ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年	平成26年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	24.2	25.0	13.5	24.3	23.1	17.9
	しない	75.8	75.0	86.5	75.7	76.9	82.1
借 入 難 易 度	容 易	15.2	16.2	16.7	19.4	18.4	—
	不 変	48.4	48.7	50.0	44.5	42.2	—
	難	15.2	16.2	13.9	11.1	10.5	—
	該当なし	21.2	18.9	19.4	25.0	28.9	—

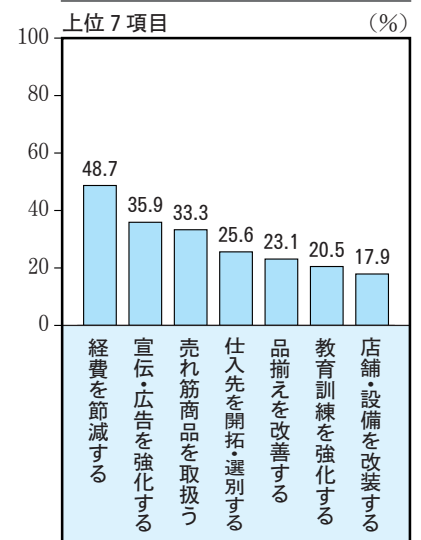
### ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年	平成26年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	12.1	20.5	21.1	16.2	15.4	12.8
	しない	87.9	79.5	78.9	83.8	84.6	87.2
状 況	過 剰	13.3	0.0	11.1	13.5	2.6	2.6
	適 正	70.0	75.8	69.5	64.9	76.3	76.3
	不 足	16.7	24.2	19.4	21.6	21.1	21.1
DI	▲3.4	▲24.2	▲8.3	▲8.1	▲18.5	▲18.5	

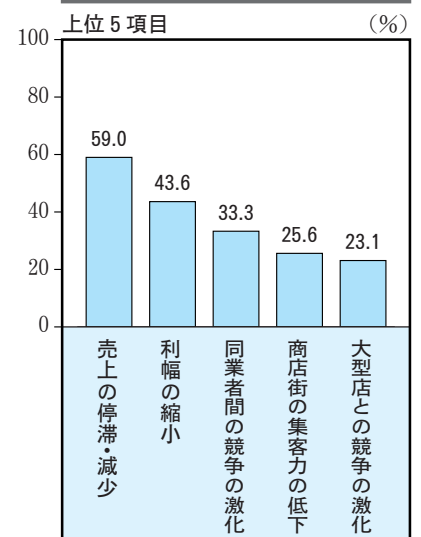
### ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年	平成26年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	6.3	8.6	10.8	2.8	8.1	18.9
	不 変	84.3	80.0	81.1	88.9	89.2	75.7
	減 少	9.4	11.4	8.1	8.3	2.7	5.4
人 手	過 剰	9.4	11.1	7.7	13.5	5.3	5.3
	適 正	84.3	80.6	79.5	78.4	73.6	76.3
	不 足	6.3	8.3	12.8	8.1	21.1	18.4

### 重点経営施策（複数回答）



### 経営上の問題点（複数回答）



## サービス業 (調査先企業 30 社 うち回答企業 27 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は7.4%（前期18.5%）、悪かったとする企業は55.6%（前期40.7%）で、DIは▲48.2（前期▲22.2）と26.0ポイント低下し悪化が強まった。

各指標別で見ると、売上額はDI▲33.3（前期▲3.7）と29.6ポイント減少幅が拡大した。収益のDIも▲26.9（前期▲11.1）と15.8ポイント減少幅が拡大した。仕入価格のDIは▲44.4（前期▲55.6）で仕入価格の上昇は弱まっているが、まだ5割近くの企業は上昇している。料金価格のDIは▲7.4（前期14.8）で料金価格は上昇から下降へと転じた。資金繰りのDIは▲25.9（前期▲11.6）と14.3ポイント厳しさが増した。今期借入れをした企業は33.3%（前期22.2%）、今期設備投資の実施をした企業は28.6%（前期10.7%）となっている。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲18.5前年同期▲20.7）と2.2ポイント改善、収益面についてもDI▲25.9（前年同期▲31.0）と5.1ポイント改善している。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、DI▲59.3（今期▲48.2）と11.1ポイント悪化が強まると予想している。

各指標別で見ると、売上額のDIは▲37.0（今期▲33.3）と3.7ポイント、収益のDIも▲44.5（今期▲26.9）と17.6ポイント減益幅が拡大、売上額・収益ともに低迷すると予想している。資金繰りのDIは▲33.3（今期▲25.9）と7.4ポイント下がり窮屈感が強まると予想している。借入れを予定している企業は25.9%（今期実施33.3%）と今期より減少すると予想している。設備投資の実施を予定している企業は20.0%（今期実施28.6%）と今期より減少する見通しである。

## ◆DI指数推移

	平成25年	平成26年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	▲41.4	▲66.7	▲69.2	▲22.2	▲48.2	▲59.3
売 上 額	▲27.6	▲55.6	▲23.1	▲3.7	▲33.3	▲37.0
収 益	▲31.0	▲59.3	▲38.5	▲11.1	▲26.9	▲44.5
料 金 価 格	▲10.3	▲3.7	38.5	14.8	▲7.4	▲11.1
材 料 価 格	▲48.3	▲34.7	▲65.4	▲55.6	▲44.4	▲18.5
資 金 繰 り	▲42.9	▲50.0	▲44.0	▲11.6	▲25.9	▲33.3

## ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年	平成26年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 施	した	10.3	25.9	16.0	22.2	33.3	25.9
	しない	89.7	74.1	84.0	77.8	66.7	74.1
借 入 難 易 度	容 易	7.4	4.0	4.3	8.0	3.7	—
	不 変	66.7	48.0	65.3	76.0	66.7	—
	難	18.5	32.0	26.1	12.0	18.5	—
	該当なし	7.4	16.0	4.3	4.0	11.1	—

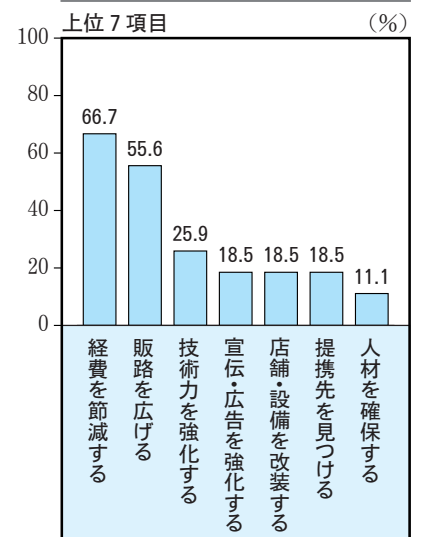
## ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年	平成26年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	29.4	24.1	22.2	10.7	28.6	20.0
	しない	70.6	75.9	77.8	89.3	71.4	80.0
状 況	過 剰	3.8	3.7	3.8	0.0	0.0	0.0
	適 正	80.8	88.9	77.0	85.2	85.2	85.2
	不 足	15.4	7.4	19.2	14.8	14.8	14.8
DI	▲11.6	▲3.7	▲15.4	▲14.8	▲14.8	▲14.8	

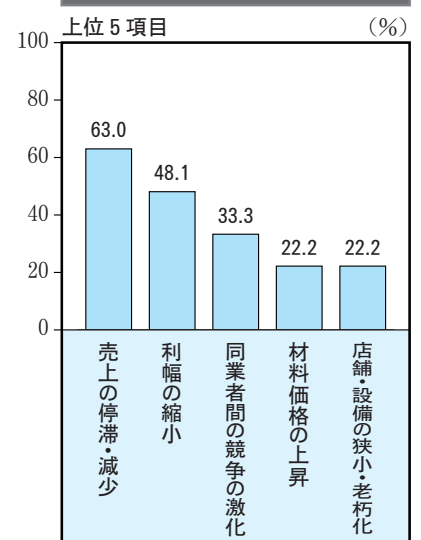
## ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）（%）

	平成25年	平成26年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	7.1	7.7	4.0	15.4	7.4	3.7
	不 変	60.8	65.4	64.0	69.2	74.1	74.1
	減 少	32.1	26.9	32.0	15.4	18.5	22.2
人 手	過 剰	17.9	14.8	7.7	14.8	0.0	3.7
	適 正	67.8	55.6	73.1	59.3	63.0	66.7
	不 足	14.3	29.6	19.2	25.9	37.0	29.6

## 重点経営施策（複数回答）



## 経営上の問題点（複数回答）



## 不動産業 (調査先企業6社 うち回答企業5社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**40.0%**（前期**16.7%**）、悪かったとする企業は**20.0%**（前期**16.7%**）で、DIは**20.0**（前期**0.0**）と良化した。

各指標別で見ると、売上額はDI**10.0**（前期**16.6**）と**16.6**ポイント、収益面についてもDI**10.0**（前期**16.6**）と**16.6**ポイント減少し弱含みとなった。販売価格のDIは**▲20.0**（前期**▲33.3**）と価格の下降が強まり、仕入価格についてもDI**20.0**（前期**16.7**）と価格の下降が強まった。今期借入れをした企業は**20.0%**（前期**16.7%**）となっている。

前年同期比で見ると、売上額はDI**10.0**（前年同期**0.0**）、収益面についてもDI**10.0**（前年同期**0.0**）で売上・収益ともに常態である。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについてはDI**10.0**（今期**20.0**）と増勢が後退すると予想している。

各指標別で見ると、売上額はDI**10.0**（今期**0.0**）、収益面についてもDI**10.0**（今期**0.0**）で売上・収益とも常態で推移すると予想している。販売価格のDIは**▲40.0**（今期**▲20.0**）と価格の下降が強まると予想しており、仕入価格についてもDI**40.0**（今期**20.0**）と価格の下降が強まると予想している。借入れを予定している企業は**20.0%**（今期実施**20.0%**）で今期と同様に推移する見通しである。

### ◆DI指数推移

	平成25年	平成26年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	0.0	▲16.7	▲16.7	0.0	20.0	0.0
売 上 額	▲16.6	▲50.0	▲16.7	16.6	0.0	0.0
収 益	▲16.6	▲50.0	▲16.7	16.6	0.0	0.0
販 売 価 格	▲33.3	▲33.3	0.0	▲33.3	▲20.0	▲40.0
仕 入 価 格	16.7	33.3	0.0	16.7	20.0	40.0
在 庫	0.0	▲16.7	0.0	▲16.7	▲40.0	▲40.0
資 金 繰 り	16.7	▲16.7	0.0	0.0	40.0	20.0

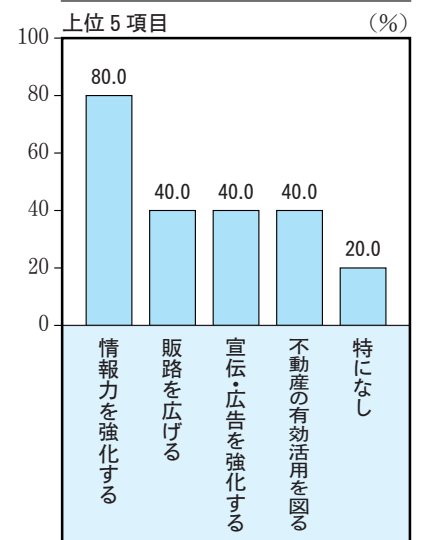
### ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合） (%)

	平成25年	平成26年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	16.7	16.7	16.7	16.7	20.0	20.0
	しない	83.3	83.3	83.3	83.3	80.0	80.0
借 入 難 易 度	容 易	0.0	0.0	20.0	0.0	25.0	—
	不 変	80.0	80.0	60.0	60.0	25.0	—
	難	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
	該当なし	20.0	20.0	20.0	40.0	50.0	—

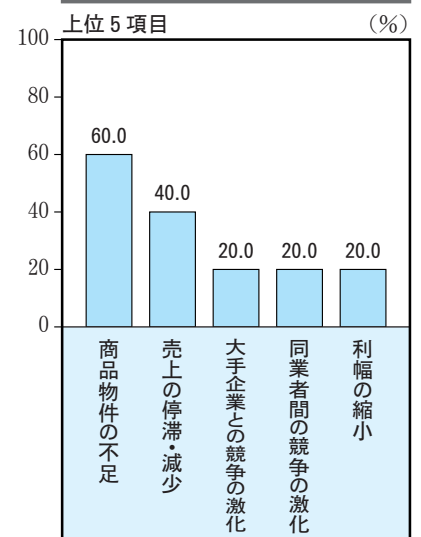
### ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合） (%)

	平成25年	平成26年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	不 変	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	減 少	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人 手	過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	適 正	83.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	不 足	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 重点経営施策（複数回答）



### 経営上の問題点（複数回答）





## 特別調査 2015年(平成27年)の経営見通し

### 問1 貴社では、平成27年の日本の景気をどのように見通していますか。

平成27年の日本の景気見通しについては『良い』(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答した企業の割合は僅か8.5%で、『悪い』(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)と回答した企業の割合は高く68.6%であった。『良い』－『悪い』は▲60.1で1年前の水準(▲19.9)からみて企業の景況感は深刻さを増している。

1年前の見通しでは安倍政権のアベノミクス効果による影響で、経済政策に期待する回答もあった。しかし、現在は、26年4月の消費税増税後の穏やかな回復基調が続いているものの、急速な円安進行などを背景に景気の先行きに不透明感があり、回復の足取りが鈍りつつであることが伺える。

(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 非常に良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 良い	1.6	1.5	0.0	0.0	2.7	0.0	20.0
3. やや良い	6.9	8.7	10.0	0.0	5.4	3.7	0.0
4. 普通	22.9	23.2	25.0	30.0	18.9	18.5	40.0
5. やや悪い	55.3	53.6	57.5	60.0	56.8	55.6	40.0
6. 悪い	12.2	13.0	5.0	10.0	13.5	22.2	0.0
7. 非常に悪い	1.1	0.0	2.5	0.0	2.7	0.0	0.0

### 問2 貴社では、平成27年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。

平成27年の自社の業況(景気)見通しを『良い』(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答した割合は10.1%で、『悪い』(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)と回答した割合は高く57.4%であった。『良い』－『悪い』は▲47.3で1年前の水準(▲37.1)から見て業況感は更に落ち込むと予想される。

業種別に『良い』－『悪い』の割合を見た場合、不動産業が40.0と一番高く、次いで卸売業▲20.0、製造業▲40.5、建設業▲47.5、小売業▲54.1、サービス業▲81.5の順になっている。

(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 非常に良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 良い	2.7	2.9	0.0	0.0	2.7	0.0	40.0
3. やや良い	7.4	10.2	5.0	20.0	8.1	0.0	0.0
4. 普通	32.5	33.3	42.5	40.0	24.3	18.5	60.0
5. やや悪い	44.1	43.5	42.5	40.0	43.3	59.3	0.0
6. 悪い	13.3	10.1	10.0	0.0	21.6	22.2	0.0
7. 非常に悪い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 問3 平成27年において貴社の売上額の伸び率は、平成26年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。

平成27年の自社の売上額見通し(伸び率)を『増加する企業』－『減少する企業』の割合で見ると▲21.3となり、1年前の水準(▲16.7)と比較して4.6ポイント下がり、低迷状況は更に続くと思われ。

業種別に見ると大きな格差があり、『増加する企業』－『減少する企業』の割合を見た場合、不動産業が60.0と一番高く、次いで卸売業0.0、製造業▲8.7、建設業▲20.0、小売業▲41.6、サービス業▲51.9の順になっている。小売業・サービス業は『減少する企業』の割合が6割近くあり厳しい状況下であると思われる。

(%)

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 30%以上の増加	0.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 20~29%の増加	1.1	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	20.0
3. 10~19%の増加	2.7	2.9	2.5	0.0	0.0	0.0	40.0
4. 10%未満の増加	15.0	18.9	10.0	30.0	16.7	7.4	0.0
5. 変わらない	40.1	44.9	50.0	40.0	25.0	33.3	40.0
6. 10%未満の減少	30.5	23.2	20.0	20.0	50.0	48.2	0.0
7. 10~19%の減少	8.5	5.8	12.5	10.0	8.3	11.1	0.0
8. 20~29%の減少	1.6	2.9	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 30%以上の減少	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

**問 4 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。**

自社の業況が上向き転換の時期については、『本年中までに良好感が出る』（「すでに上向いている」・「6ヶ月以内」・「1年後」の合計）と回答した割合は**31.5%**となり、1年前の水準（**33.7%**）と比較してやや悪化している。また、「業況の改善の見通しは立たない」と回答した割合は**39.2%**で、1年前の水準（**37.9%**）より悪化している。このことから良好感の遅れや見通しが立たない企業が多いことが伺える。

業種別に見ると、『本年中に良好感が出る』と回答した割合は**不動産業が60.0%**と一番多く、次いで**製造業46.2%**、**小売業24.3%**、**建設業23.7%**、**卸売業20.0%**、**サービス業14.8%**の順になっている。（%）

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1.すでに上向いている	10.3	11.9	13.2	0.0	8.1	3.7	40.0
2.6ヶ月以内	5.4	7.4	0.0	10.0	10.8	0.0	0.0
3.1年後	15.8	26.9	10.5	10.0	5.4	11.1	20.0
4.2年後	14.1	19.4	7.9	20.0	8.1	14.8	20.0
5.3年後	9.8	4.5	7.9	30.0	8.1	22.2	0.0
6.3年超	5.4	3.0	7.9	10.0	8.1	3.7	0.0
7.業況改善の見通しは立たない	39.2	26.9	52.6	20.0	51.4	44.5	20.0

**問 5**

平成26年に消費税が8%に上がりましたが、平成27年10月（※注意）には、さらに10%に上がることが検討されています。貴社では8%に上がった際、経営にどのような影響を受けましたか。また、10%に上がった場合、どのような影響を受けることが予想されますか。

平成26年に消費税が8%に上がった際の影響については、6割近くが悪影響を受け、2割程が今も全く回復していない。

業種別に見ると、悪影響を受けた割合が一番大きかったのは**小売業で83.8%**、次いで**サービス業74.1%**、**卸売業60.0%**、**建設業51.3%**、**不動産業40.0%**、**製造業39.1%**の順になっている。また、今も全く回復していない割合では**小売業が46.0%**、**サービス業が37.1%**と他業種に比べて高くなっている。

また、消費税が10%に上がった場合の影響については、平成26年に消費税が8%に上がったとき以上に悪影響を受けると予想されている。

（※注意）消費税10%への引き上げ時期については、本調査を始めたときには『平成27年10月からの予定』でしたが、本調査中の平成26年11月18日に『平成29年4月に1年半先送りの方針に決定』となった。今回の特別調査は引き上げ時期が変更されている中で回答となっている。（%）

【8%に上がった際の影響】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1.悪影響を受け、今も全く回復していない	20.9	11.6	7.7	10.0	46.0	37.1	0.0
2.悪影響を受け、今は回復途中である	22.4	13.0	30.8	40.0	29.7	18.5	20.0
3.悪影響を受けたが、今は回復した	13.4	14.5	12.8	10.0	8.1	18.5	20.0
4.あまり影響を受けなかった	35.8	55.1	38.4	10.0	8.1	25.9	60.0
5.駆け込み需要などで好影響を受けた	7.5	5.8	10.3	30.0	8.1	0.0	0.0
【10%に上がった場合の影響】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
6.悪影響を長い期間受ける	33.9	19.4	17.9	60.0	55.3	59.3	0.0
7.悪影響を一時的に受ける	37.1	37.3	51.3	20.0	36.8	22.2	40.0
8.あまり影響は受けない	16.7	31.4	5.1	0.0	5.3	11.1	60.0
9.むしろ好影響を受ける	0.5	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
10.わからない	11.8	11.9	23.1	20.0	2.6	7.4	0.0

商品のご案内	
お使いみち	ご自由(事業性資金もOK!)
お申込みいただける方	<ul style="list-style-type: none"> <li>●満20歳以上、完済時75歳以下の個人または個人事業主の方</li> <li>●当金庫の営業地域内に居住または勤務されている方</li> <li>●安定継続した収入のある方(パート、アルバイト、年金収入の方もOK)</li> <li>●世帯収入のある専業主婦(夫)の方</li> </ul>
ご融資金額	10万円以上300万円以下(1万円単位)
ご融資利率	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年9.0%(保証料を含む) 固定金利</li> <li>●保証会社の審査により年9.0%でお取扱できない場合は、固定金利年13.5%(保証料込)のタイプで同時手続きさせていただきます。</li> </ul>
ご融資期間	6ヶ月以上7年以内
ご返済方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●元利均等定額返済(ご返済日は毎月6日・16日のいずれかの日となります)</li> <li>●お申込金額の50%以内についてボーナス併用返済もご用意します。</li> </ul>
担保・保証人	不要 [職クレディセソンの保証付]

●詳しくは当金庫各支店窓口までお問い合わせください。  
●店頭に商品概要説明書をご用意しております。  
●審査結果によってはお申込金額の減額またはご希望に添えない場合があります。